記　者　発　表

山形県内東北地方整備局関係

平 成 ２ ２ 年 度 事 業 概 要

記者発表先：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部、新庄新聞放送記者会
酒田記者クラブ、鶴岡記者会、山形建設業界専門紙

平成22年3月29日

国土交通省 東北地方整備局
山 形 県 内 の ５ 事 務 所

目　　次

１．山形河川国道事務所関係　・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．酒田河川国道事務所関係　・・・・・・・・・・・・・・・・　9

３．新庄河川事務所関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

４．長井ダム工事事務所関係　・・・・・・・・・・・・・・・・　30

５．酒田港湾事務所関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32

※なお、各事業に対する質問は担当事務所の問い合わせ先へお願いします。

平 成 ２ ２ 年 度

山形河川国道事務所事業概要

平成22年3月29日

国土交通省 東北地方整備局
山 形 河 川 国 道 事 務 所

問い合わせ先

国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所

河川関係 ： 副所長（河川担当）山谷（やまや） 博志（内線204）
道路関係 ： 副所長（道路担当）高橋（たかはし） 敏彦（内線205）

〒990－9580 山形市成沢西四丁目3番55号
TEL（023）688－8421（代）

目　　次

１．平成２２年度の予算概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

２．平成２２年度の全体概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

３．主要事業箇所別調書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

４．主要事業位置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

５．主要事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

1. 平成22年度の予算概要

（単位:百万円）

区　　分	平成22年度 当初工事関係費	平成21年度 当初工事関係費	増減	伸率 H22/H21
河川関係予算	1,055	654	401	1.61
道路関係予算	14,807	23,918	▲9,111	0.62
合　　計	15,862	24,572	▲8,710	0.65

注）河川・道路関係予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。
工事関係費は業務取扱費を除く金額で記載。

2. 平成22年度の全体概要

○　山形河川国道事務所では、一級河川最上川及び一般国道5路線の整備や管理を通じて、安全で安心・快適で豊かな生活・経済を実現できる舞台をつくり、活力ある自立的な地域づくりを目指しています。

○　平成22年度の総工事関係費（業務取扱費は除く）は約159億円で、うち河川関係の工事関係費約11億円、道路関係の工事関係費は約148億円です。

○　河川事業では、安全で安心できる地域づくりのため、次の事業を推進します。

- 須川改修事業（山形市、東村山郡中山町）　【継続】
- 長井地区かわまちづくり（長井市）　【継続】

○　道路事業では、安全で円滑な交通を確保するため、次の事業を推進します。

- 国道13号　新庄北道路（新庄市）　【完成】
- 国道13号　上山バイパス（南陽市～上山市）　【完成】

3. 主要事業箇所別調書

山形河川国道事務所における事業一覧

事業区分	事業名（市町村名）	事業着手年度	H22工事関係費（百万円）	H22事業内容
【河　川】	須川改修事業（山形市、東村山郡中山町）	H11	552	河道掘削、用地
	谷地地区築堤事業（西村山郡河北町）	H21	320	築堤、樋管、用地
	大旦川内水対策検討（村山市、東根市）	H22	70	
	長井地区かわまちづくり（長井市）	H21	72	側帯、護岸、用地
	河北町かわまちづくり（河北町）	H22	10	全体計画検討
【道　路】	東北中央自動車道　福島～米沢（米沢市）	H10	1,805	トンネル工事
	東北中央自動車道　米沢～米沢北（米沢市）	H15	2,250	用地補償、改良工事
	東北中央自動車道　東根～尾花沢（東根市～尾花沢市）	H10	2,607	用地補償、改良工事
	国道13号　尾花沢新庄道路（尾花沢市～新庄市）	S61	710	橋梁工事
	国道13号　新庄北道路（新庄市）	H12	300	全線暫定2車線供用　L=4.7km 舗装工事
	国道13号　米沢拡幅（米沢市）	H11	500	用地補償、改良工事
	国道13号　上山バイパス（南陽市～上山市）	S54	300	全線暫定2車線供用　L=5.5km 舗装工事
	国道13号　大野目交差点改良（山形市）	H16	1,200	用地補償、改良工事
	国道112号　霞城改良（山形市）	H14	1,501	用地補償、改良工事
	国道47号　新庄古口道路（新庄市～最上郡戸沢村）	H17	2,000	用地補償、改良、橋梁工事
	国道47号　高屋道路（最上郡戸沢村）	H18	159	用地補償
	国道113号　梨郷道路（長井市～南陽市）	H20	100	調査・設計
	国道13号　飛森視距改良（金山町）	H18	138	改良工事
	国道13号　名木沢歩道整備事業（尾花沢市）	H16	81	事業完　L=1,600m 改良、舗装工事
	国道13号　長岡交差点改良（南陽市）	H20	102	事業完 改良、舗装工事
	国道47号 向町歩道整備事業（最上郡最上町）	H20	54	用地補償

※工事関係費は業務取扱費を除く

4. 主要事業位置図

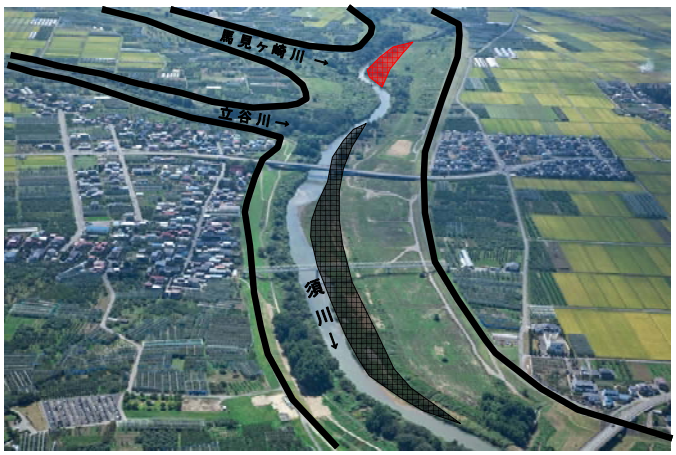

秋田県
遊佐町
酒田市
最上川
赤川
日本海沿岸東北自動車道
真室川町
金山町
飛森視距改良
鮭川村
新庄北道路
新庄古口道路
向町歩道整備事業
新庄市
最上町
舟形町
高屋道路
戸沢村
名木沢歩道整備事業
鶴岡市
庄内町
尾花沢新庄道路
尾花沢市
大蔵村
大石田町
東北中央自動車道
東根～尾花沢
谷地地区築堤事業
寒河江市
村山市
大旦川内水対策検討
西川町
河北町かわまちづくり
大久保遊水地
河北町
東根市
東北横断自動車道酒田線（山形自動車道）
大江町
天童市
霞城改良
中山町
須川改修事業
朝日町
山辺町
須川
大野目交差点改良
白鷹町
山形市
長井市
上山バイパス
長井地区かわまちづくり
南陽市
上山市
小国町
新潟県
宮城県
長岡交差点改良
梨郷道路
高畠町
川西町
米沢拡幅
飯豊町
東北中央自動車道
米沢～米沢北
米沢市
東北中央自動車道
福島～米沢
福島県
凡例
一般国道 事業中区間（大臣管理区間）
一般国道 指定区間（大臣管理区間）
高速自動車道（開通区間）
高速自動車道（新直轄事業中区間）
有料道路

５．主要事業の概要

■［山形市、東村山郡中山町］最上川上流　須川改修事業



・須川改修事業の推進により、洪水から浸水被害の軽減を図ります。
・H22 年度工事関係費：５５２百万円
・H22 年度は、支川須川の河道掘削を引き続き実施します。

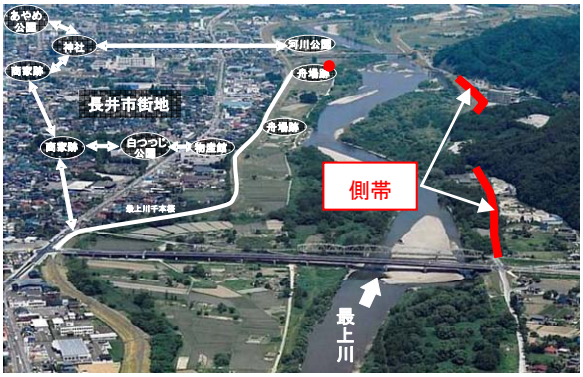




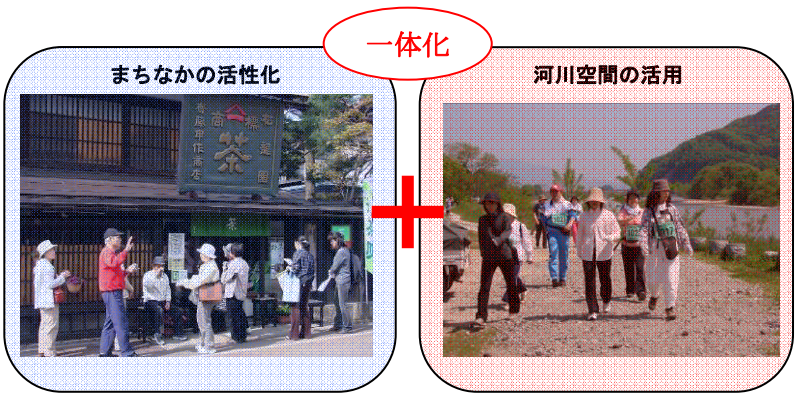
■［長井市］最上川上流　長井地区かわまちづくり

・地域の振興計画等にも利用できる河川管理施設の整備により、最上川舟運で栄えた港町、桜回廊など、長井市の特色を活かした観光振興とまちづくりを支援します。
・H22 年度工事関係費：７２百万円
・H22 年度は、側帯および護岸を実施します。



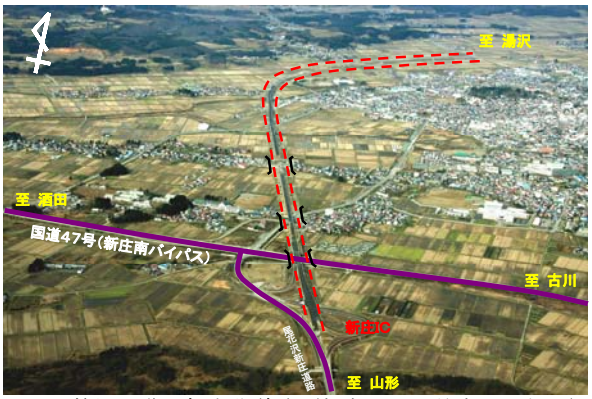


更なるまちの活性化



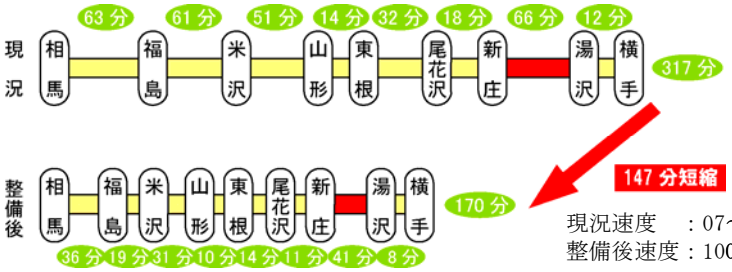
■［新 庄 市］国道１３号　新 庄 北 道路（H12～H22（全線暫定２車線供用））

・人物・物流ネットワーク構築のため、格子状骨格道路を整備し、移動時間が短縮されます。
・H22 年度工事関係費：３００百万円
・H22 年度は、全線暫定２車線供用に向けて、舗装工事等を実施します。





▲整備が進む新庄北道路（起点側から終点側を望む）



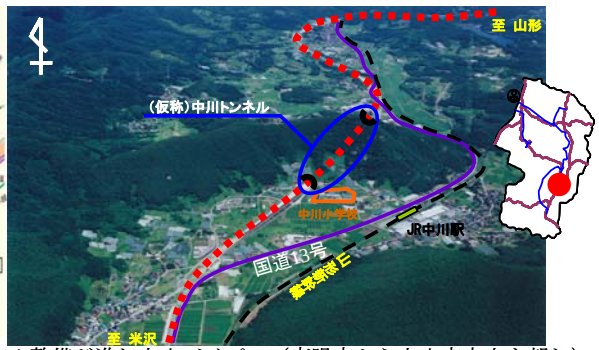
←相馬市～横手市間の所要時間の変化（東北中央自動車道全線整備の場合）

現況速度　：07～08道路時刻表
整備後速度：100km/h（一部80km/h）として設定

■［南陽市～上山市］国道１３号　上 山 バイパス（S54～H22（全線暫定２車線供用））

・上山市中川地区の慢性的な渋滞解消のため、市街地を迂回するバイパスを整備し、移動時間が短縮されます。
・H22 年度工事関係費：３００百万円
・H22 年度は、全線暫定２車線供用に向けて、舗装工事等を実施します。

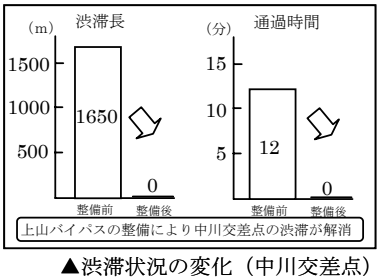




▲整備が進む上山バイパス（南陽市から上山市方向を望む）



▲中川交差点の渋滞状況

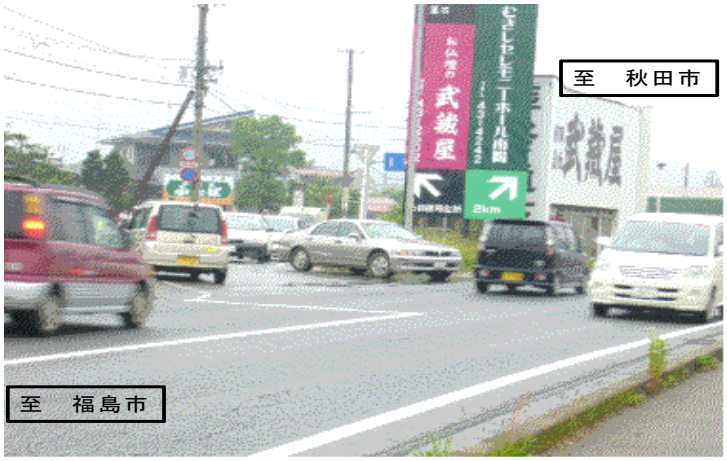


▲渋滞状況の変化（中川交差点）

■［南陽市（なんよう）］国道１３号　長岡（ながおか）交差点改良（H20～H22）

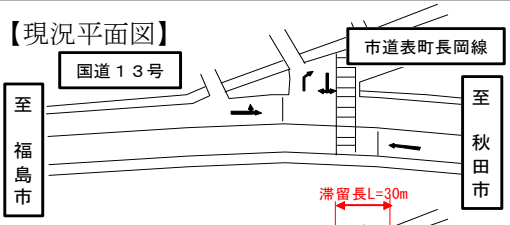
・交差点改良による交差角の修正及び左折レーン設置により、交通事故の削減と交通円滑化を図ります。
・H22 年度工事関係費：１０２百万円
・H22 年度は完成に向けて、舗装工事等を実施します。



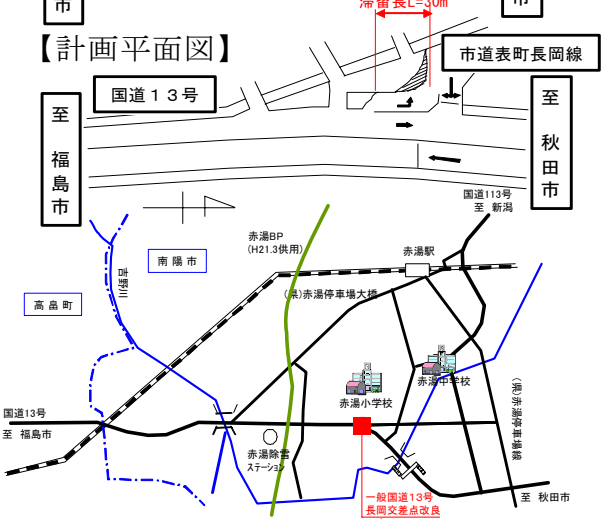


▲交差点状況

【現況平面図】



【計画平面図】



平成２２年度

河川、道路整備事業の概要

平成２２年３月 29 日

国土交通省　東北地方整備局

酒田河川国道事務所

問合せ先

国土交通省　酒田河川国道事務所
〒998-0011 酒田市上安町一丁目 2-1
Tel 0234-27-3331（代）

副所長（河川担当）　齋藤　信哉　内線 204
副所長（道路担当）　堀　喜代志　内線 205

１．平成２２年度事業概要

１）概　　要

酒田河川国道事務所は、大正６年最上川改修土地収用事務所として発足し、以来幾度かの組織の変遷を経て、昭和３２年に酒田工事事務所、平成１５年度から酒田河川国道事務所となり、庄内地域の“二つの川と三つの道”の改修、改築事業とその管理を行っています。

現在担当する区間として、河川は最上川下流及び赤川の本川２河川と京田川を含め５支川で74.7km、道路は日本海沿岸東北自動車道の26kmと国道７号･47号及び112号の３路線で延長150.2kmについて、改修・改築・交通安全等事業を推進します。

本年度の総工事関係費（受託・調査を除く）は約　２１０億円です。

２）河川事業

近年の局地的な集中豪雨や地震などに起因して頻発する風水害・震災から被害を最小限とする緊急的な対策が必要とされています。このため、当事務所においても住民の円滑かつ迅速な避難を促し被害を最小限にするための支援を行うとともに、山形県と連携し流域全体の安全度の確保、向上を図っていきます。

本年度の河川事業は、自然豊かな河川環境を有する最上川と赤川の河川特性を活かし、地域と連携した事業の推進を図り、計画達成に向けて効率的・計画的に河川事業を行います。

主な河川事業として、最上川下流は、支川京田川における流下能力向上を図るため、関連する国道112号出羽大橋の４車線化工事に伴う坂野辺地区の出羽大橋架替を実施します。

赤川は、中流部における洪水流下能力の向上を図るため、湯野沢地区等の河道掘削を推進します。また、地域と連携し赤川らしい豊かな河川環境の復元・創出を図るため、赤川の自然再生事業を推進します。

赤川については「赤川水系河川整備計画」の策定に向けて、検討を進めて行きます。

3）道路事業

地域間を交流・連携し庄内地域の活性化に資する高速交通ネットワークの整備を推進するとともに、庄内地域の安全で快適な道路交通確保を目指し、交通事故対策、交通渋滞対策を行います。

新直轄事業の日本海沿岸東北自動車道では、温海～鶴岡間において長大トンネルである温海トンネル及び堅苔沢トンネルの工事、五十川橋の橋梁上部工工事、改良工事、舗装工事を継続して、事業推進を図ります。

また、酒田みなと～遊佐間においては、調査設計を推進します。

国道７号では、日本海沿岸東北自動車道と東北横断自動車道（酒田線）との連絡を強化し、渋滞の緩和、事故の減少を図るため、鶴岡バイパスの４車線化を推進します。

また、安全で安心な道路交通を確保するため、温海地区防災において、安全・安心な道路交通を確保するため法面保護などの防災対策を実施します。

国道 47 号では、新庄酒田間の地域高規格道路の一部である余目酒田道路について、早期の供用を目指し、用地買収、改良工事、最上川を渡る庄内中央大橋(仮称)の上部工工事を推進します。

国道 112 号では、山岳地帯を通過する月山防災において安全・安心な道路交通を確保するため落石防護柵、法面保護などの防災対策を実施します。

また、鶴岡市内の交通混雑緩和、環状道路の一部を形成する鶴岡北改良については、用地買収を推進するとともに改良工事を推進します。

交通安全事業は、国道７号中清水歩道整備、十五軒交差点改良事業を推進します。

２．平成２２年度　酒田河川国道事務所予算概要

（単位：百万円）

	平成22年度 当初工事関係費①	平成21年度 当初工事関係費②	対前年度 増減費	①/② 伸び率（%）
河川事業	663	642	21	103%
道路事業	20,341	18,834	1,507	108%
合　計	21,004	19,476	1,528	108%

注）河川・道路関係予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。

３．河川事業

１）河川改修事業（工事関係費　Ｃ＝５１２百万円）

最上川下流において、京田川の洪水流下能力の向上を図るために実施している京田川引堤事業に伴い、関連する国道 112 号出羽大橋の４車線化工事における京田川部の出羽大橋下部工工事及び河道掘削工事を実施します。

赤川において、中流部の洪水流下能力の向上を図るため河道掘削全体計画のうち、湯野沢地区等の河道掘削を推進します。

河　川　名	名　称　付	全　体　計　画	事　業　概　要
最上川下流 (京田川)	出羽大橋架替事業	橋梁架替 L=128.8m	坂野辺地区の出羽大橋下部工工事等を実施します。
赤　　川	河道掘削事業	掘削延長 L≒10.5 ㎞ 掘削土量 V≒2,050 千 m^3	湯野沢地区等の河道掘削を推進します。

２）河川工作物関連応急対策事業（工事関係費　Ｃ＝２８百万円）

最上川下流、赤川の樋門について、老朽化した施設の補強と基礎部分に空洞が確認された施設の対策を行い施設の安全性向上に努めます。

３）総合水系環境整備事業（工事関係費　Ｃ＝１２２百万円）

赤川において、地域と連携し赤川らしい豊かな河川環境の復元・創出を図るため、赤川の自然再生事業を推進します。

平成２２年度は、魚類等の重要な生息環境である瀬・淵の再生を図るための水制工設置を行います。

河　　川　　名	名　　称	全　体　計　画	備　　考
赤　　川	赤川自然再生事業	L≒　13km	

４．道路事業

1）日本海沿岸東北自動車道　新直轄事業（工事関係費　Ｃ＝１３,７８５百万円）

高速交通ネットワークの整備を図り、地域間を交流・連携し庄内地域の活性化を図るため、引き続き日本海沿岸東北自動車道の整備を促進します。

路　線　名	事業箇所名	計　画		完成・供用目標年度	Ｈ２２事業概要
		延　長	車線数(幅員)		
日本海沿岸東北自動車道	温海～鶴岡	26km	2 (12.0)	Ｈ２３	温海トンネル貫通、堅苔沢トンネル貫通。五十川橋上部工完により橋梁が全て完成。 トンネルの機械設備等に着手し、舗装工事を促進し、H23 供用を目指す。
	酒田みなと～遊佐	12km	2 (12.0)	－	全線にわたり、調査設計を実施する。

2）改築関係事業　（工事関係費　C＝６,０１６百万円）

国道７号、４７号、１１２号の３路線の直轄管理区間において、安全・安心な道路交通の確保、快適で円滑な道路交通の確保を図るため、引き続き温海地区防災、月山防災において防災対策を実施するとともに、余目酒田道路、鶴岡北改良の早期供用に向け事業促進を図ります。

路線名	事業箇所名	計　画		完成・供用目標年度	Ｈ２２事業概要
		延　長	車線数(幅員)		
国道７号（２事業）	温海地区防災	(区間長) 約 20km	2 (13.5m)	－	小波渡地区の越波対策（副離岸堤）、温海地区の法面対策を実施する。
	鶴岡バイパス（４車線化）	5.9km	4 (28.0m)	Ｈ２３	下清水地区の用地買収を促進し、湯尻川橋上部工、改良工事を促進する。
国道４７号（１事業）	余目酒田道路	12.7km	4 (22.0m)	－	酒田市街地部の用地買収を促進する。 庄内中央大橋上部工が架設完了。 酒田市側及び庄内町側の改良工事を促進する。

路 線 名	事業箇所名	計　画		完成・供用目標年度	Ｈ２２事業概要
		延　長	車線数 (幅員)		
国道 112 号 （２事業）	月山防災	14.3km	2 （10.75m）	－	上名川地区（米の粉ﾄﾞﾗｲﾌﾞｲﾝ前）の落石・土砂崩落等の防災対策を促進する。
	鶴岡北改良	2.0km	4 (28.0m)	Ｈ２３	宝田地区の用地買収を促進し、早期供用に向け茅原・本田地区の改良工事を促進する。 また、鶴岡北橋(仮称)の下部工が完成となる。

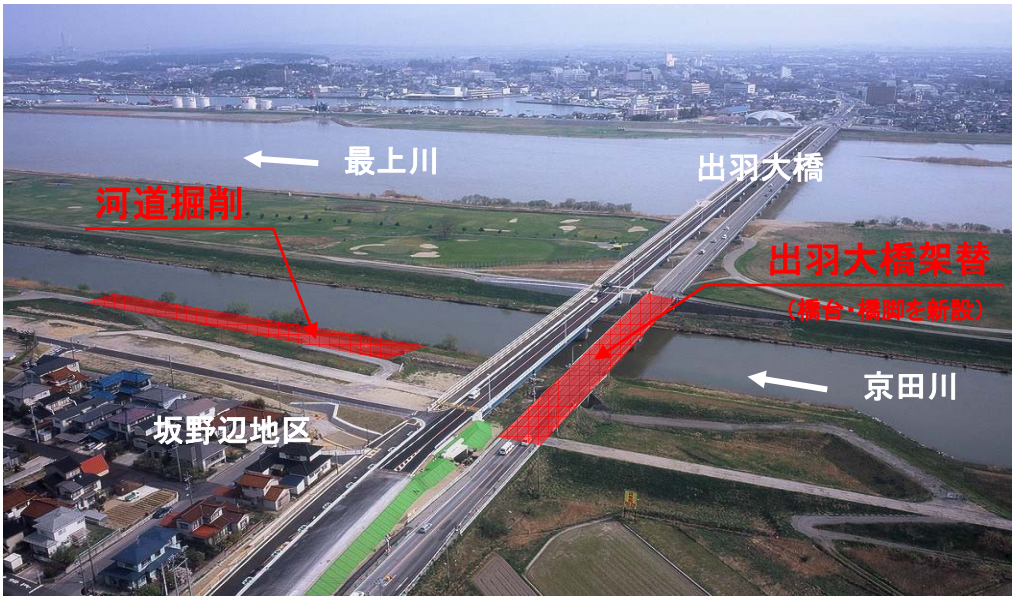
３）交通安全事業

交通事故の防止と交通の円滑化・快適化を図るため、交通安全事業として国道 7 号中清水歩道等整備を実施します。

河川関係主要事業　下流域の安全を守る事業

京田川引堤事業

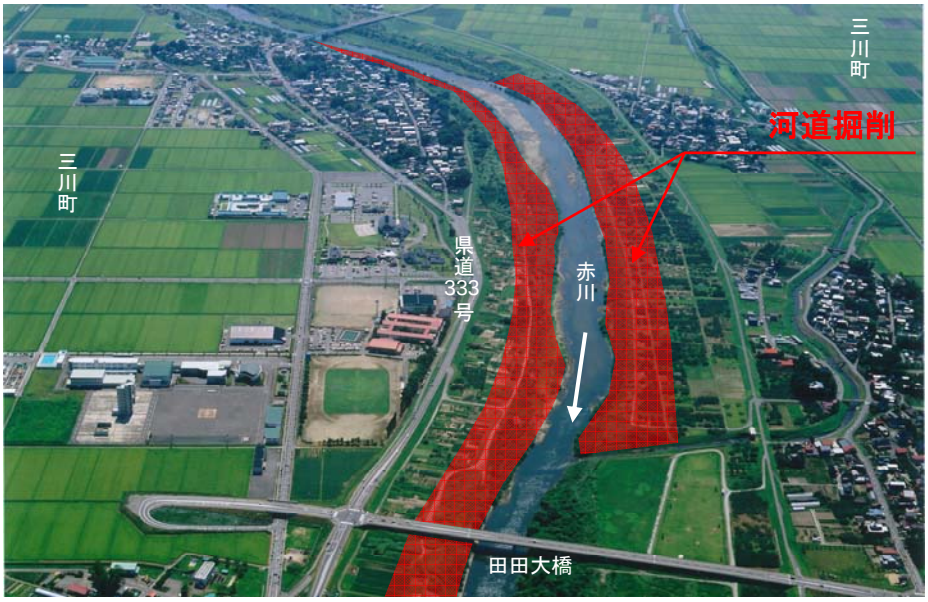
概成している最上川支川京田川の引堤事業の内、残されている山形県施工の国道 112 号出羽大橋の４車線化工事に伴う京田川部出羽大橋架替を実施します。



予算投入効果
・予算を投入することで京田川の治水安全度向上を図ります。

赤川河道掘削事業

赤川中流部の洪水流下能力の向上を図るため河道掘削全体計画のうち、湯野沢地区等の河道掘削を推進します。



予算投入効果
・予算を投入することで、赤川の治水安全度向上を図ります。

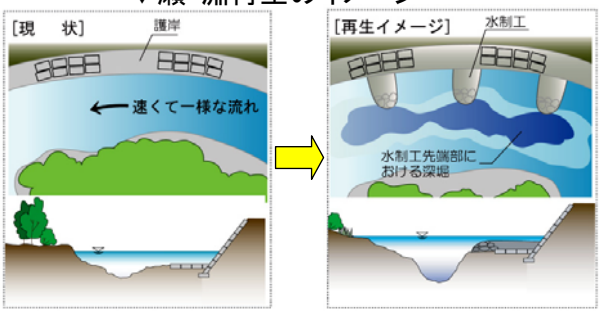
河川関係主要事業　赤川本来の自然を再生する事業

赤川自然再生事業

赤川の鶴岡市久保地区において水制工の設置を行い、多様な流れの形成により様々な生物が生息できる環境の保全・創出（瀬・淵の再生）を進めます。



▼瀬・淵再生のイメージ



・水制工の設置により、先端部に発生する洗掘作用を活用し、淵をはじめとする多様な流れを創出する。

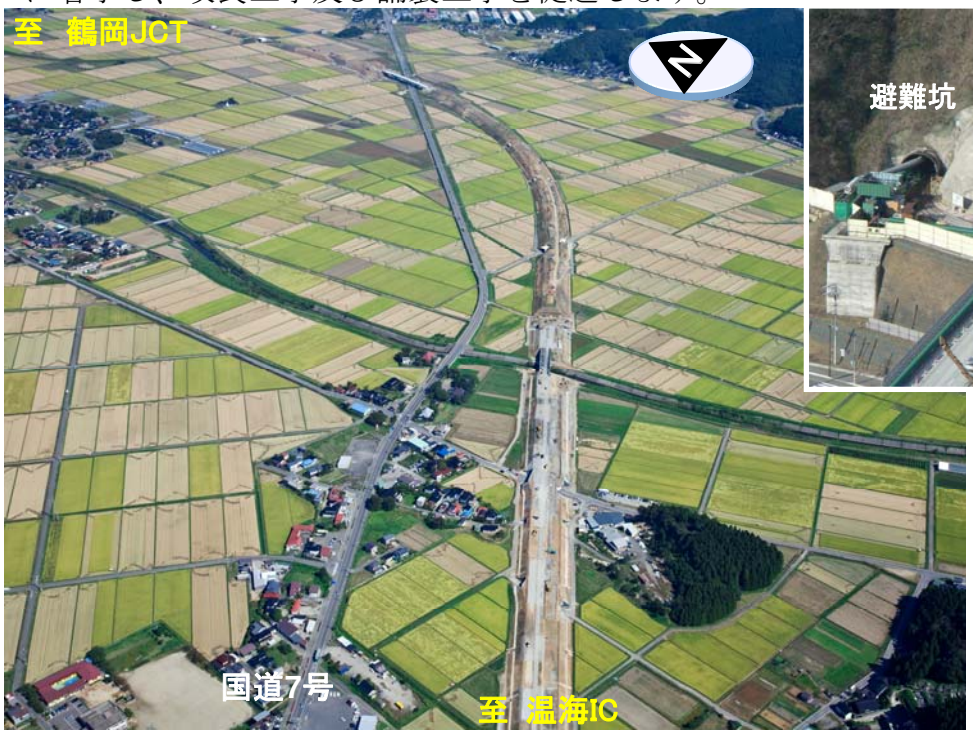
予算投入効果

・予算を投入することで、魚類等の重要な生息環境である瀬・淵の再生を進め、赤川らしい豊かな流れの再生に寄与します。

道路関係主要事業　広域的な交流・連携を支援し、庄内地域の活性化に資する事業

新直轄事業　日本海沿岸東北自動車道（温海～鶴岡）

温海トンネル貫通、堅苔沢トンネル貫通、五十川橋上部工が完成し、トンネルの機械設備等に着手し、改良工事及び舗装工事を促進します。



▲整備が進む鶴岡市水沢付近



▲温海トンネル　L=6,022m
（H22.3月末　掘進約5,588m）

地域高規格道路　国道４７号　余目酒田道路

酒田市街地部の用地買収を促進するとともに、酒田市新堀・砂越地区及び庄内町地区の改良工事、最上川を渡る庄内中央大橋(仮称)の上部工工事を促進します。



▲整備が進む酒田市砂越付近

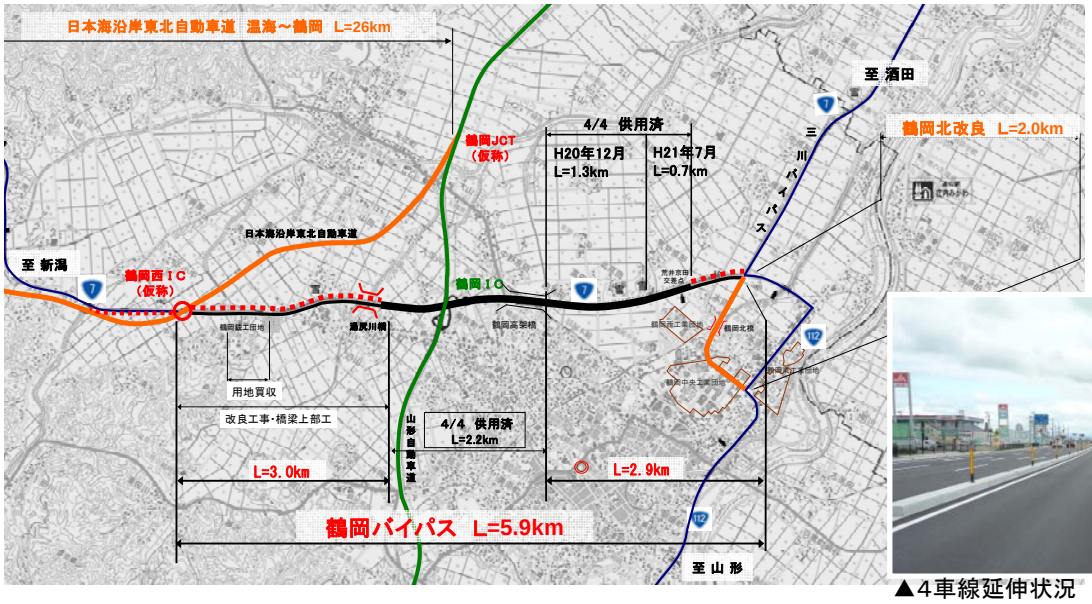


▲庄内中央大橋（仮称）の
上部工架設状況

道路関係主要事業　庄内地域の快適で円滑な道路交通を確保するための事業

国道７号　鶴岡バイパス（４車線化）

下清水地区の用地買収を促進するとともに、湯尻川橋上部工及び改良工事を促進します。

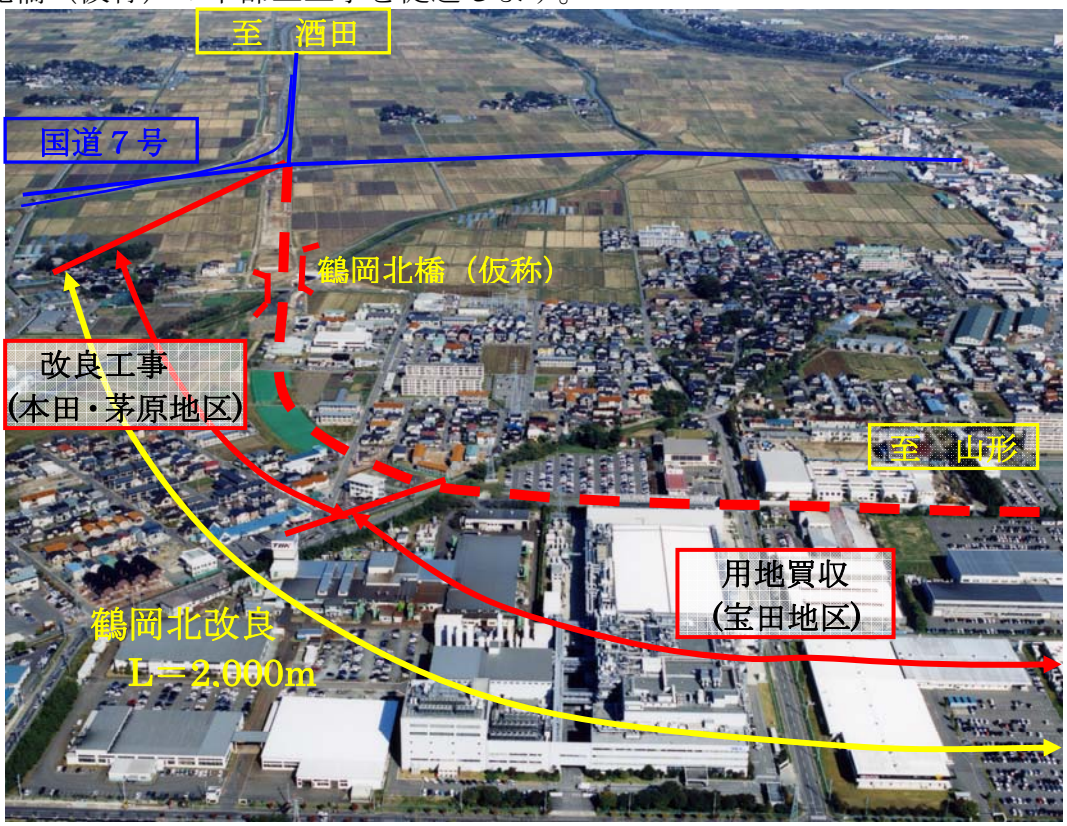




▲4車線延伸状況
（覚岸寺交差点～本田交差点　L=700m）

国道 112 号　鶴岡北改良

宝田地区の用地買収を促進するとともに、本田地区、茅原地区の改良工事及び鶴岡北橋（仮称）の下部工工事を促進します。



平　成　２２　年　度

新庄河川事務所　事業概要

平　成　２２年　３月２９日

国土交通省　東北地方整備局

新　庄　河　川　事　務　所

問い合わせ先

東北地方整備局　　新庄河川事務所

技術副所長　　高　橋　孝　男

〒996-0071　新庄市小田島町５－５５　ＴＥＬ　０２３３－２２－０２５１

１．　平成２２年度事業概要

新庄河川事務所では、河川事業については最上川（中流）と支川鮭川の約１００Ｋｍと排水機場、樋門・樋管等の管理施設９５ヵ所の維持管理を行っており、日常及び災害時に機能が発揮出来るよう、万全な対応を実施します。

砂防事業については最上川水系（立谷沢川、角川、銅山川、寒河江川、鮭川）、赤川水系（赤川流域）の砂防堰堤２２２基により、土砂災害の被害軽減及び渓流等の河床安定を図っています。

地すべり事業は豊牧地区及び月山地区の地すべり施設（集水井等）により、地すべり地の安定を図っております。

新庄河川事務所の平成２２年度の工事関係費（業務取扱費は除く）は、河川事業関係と砂防事業関係とをあわせて全体で約４４億円です。

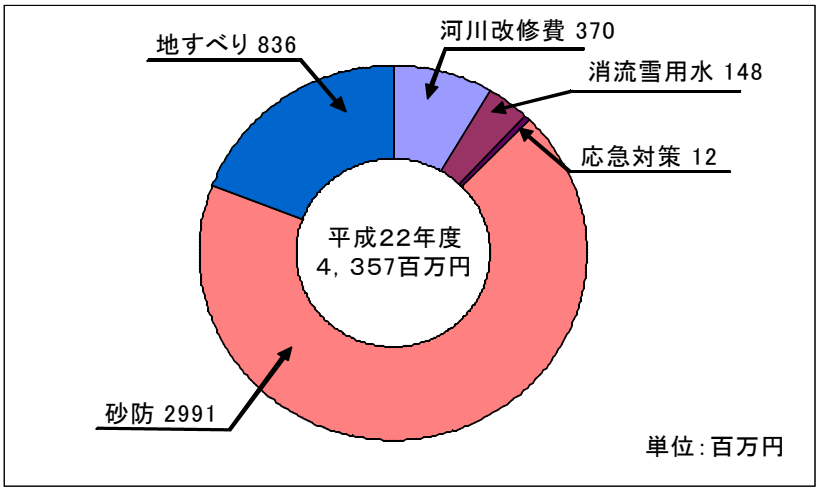
河川事業関係の工事関係費（業務取扱費は除く）は約５億円で、最上川河川整備計画（平成14年11月策定）を踏まえた**最上川中流改修事業**を継続促進するため、**戸沢村皿島地区**を対象に**連続堤によらない治水対策**を継続実施します。**消流雪用水導入事業**としては、**大石田町岩ヶ袋地区**の整備を完成化に向け継続実施します。また、既設の河川管理施設の維持管理等を実施します。

砂防事業関係は工事関係費（業務取扱費は除く）約３０億円で**最上川、赤川水系の砂防えん堤の建設**を継続促進します。また、地すべり対策事業関係は工事関係費（業務取扱費は除く）約８億円で**最上川水系豊牧地区及び最上川・赤川水系月山地区**の対策を継続促進します。

２．　平成２２年度予算（費目別）　（当初予算）

費　目		平成２２年度工事関係費（百万円）	平成２１年度工事関係費（百万円）	伸率 H22/H21
河川	河川改修費	３７０	２８２	1.31
	消流雪用水	１４８	２２２	0.67
	応急対策	１２	２４	0.50
砂防	砂　防	２，９９１	３，２６３	0.92
	地すべり	８３６	８２６	1.01
合　計		４，３５７	４，６１７	0.94

注）河川予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。
　　工事関係費は業務取扱費を除く金額で記載。



３．　主要事業概要

１）河川工作物関連応急対策事業

○　排水樋管等の河川工作物について、樋管ゲート電動化等の応急的な改良を実施し、施設の安全・機能性の向上を図ります。

２）河川改修事業

○　**戸沢村皿島地区**は無堤のため、洪水のたび浸水被害を受けており、地域の安全で安心した暮らしを図るため**連続堤によらない治水対策**を**継続実施**します。

３）消流雪用水導入事業

○　平成１９年度より克雪対策の一環として実施している**大石田町岩ヶ袋地区消流雪用水導入事業**は今年度中に**完成**とします。

４）砂防事業

◎　最上川水系（事業箇所数：１５箇所）

○　立谷沢川流域濁沢、銅山川流域赤砂川等において大規模崩壊が発生しており、各流域からの大量の土砂流出を抑制し、流出土砂が起因する土砂災害から保全対象地区（最上川５流域、最上川本川）の**生命・財産を守る**ため立谷沢川、角川、銅山川、鮭川、寒河江川の５流域において、**本郷不動沢砂防堰堤**など**３箇所の砂防堰堤**に**着手**するとともに、**濁沢第七砂防堰堤**をはじめとする**１２箇所の砂防堰堤**を**促進**します。

なお、銅山川流域の**赤砂第八砂防堰堤**などの**３箇所の砂防堰堤等**を**完成**させ、土砂災害防止に寄与します。

◎　赤川水系（事業箇所数：４箇所）

○　流出土砂が起因する土砂災害から保全対象地区（赤川流域、本川）の生命・財産を守るため赤川において、八絋沢砂防堰堤に着手するとともに、早田川砂防堰堤の改築等を促進します。

◎　事業の実施にあたり、周辺環境への配慮・対応として貴重な鳥類等調査など、環境影響調査を実施しながら事業を進めていきます。

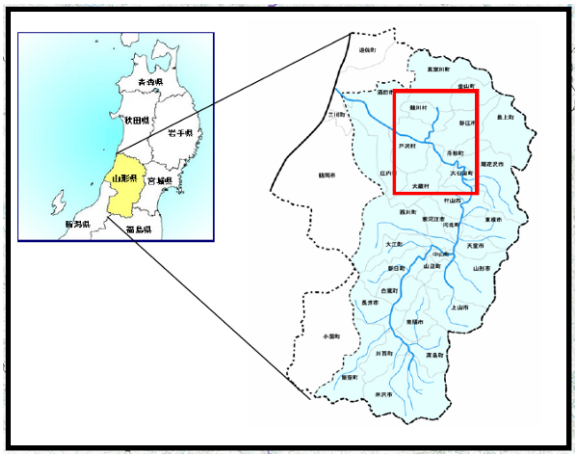
５）地すべり対策事業

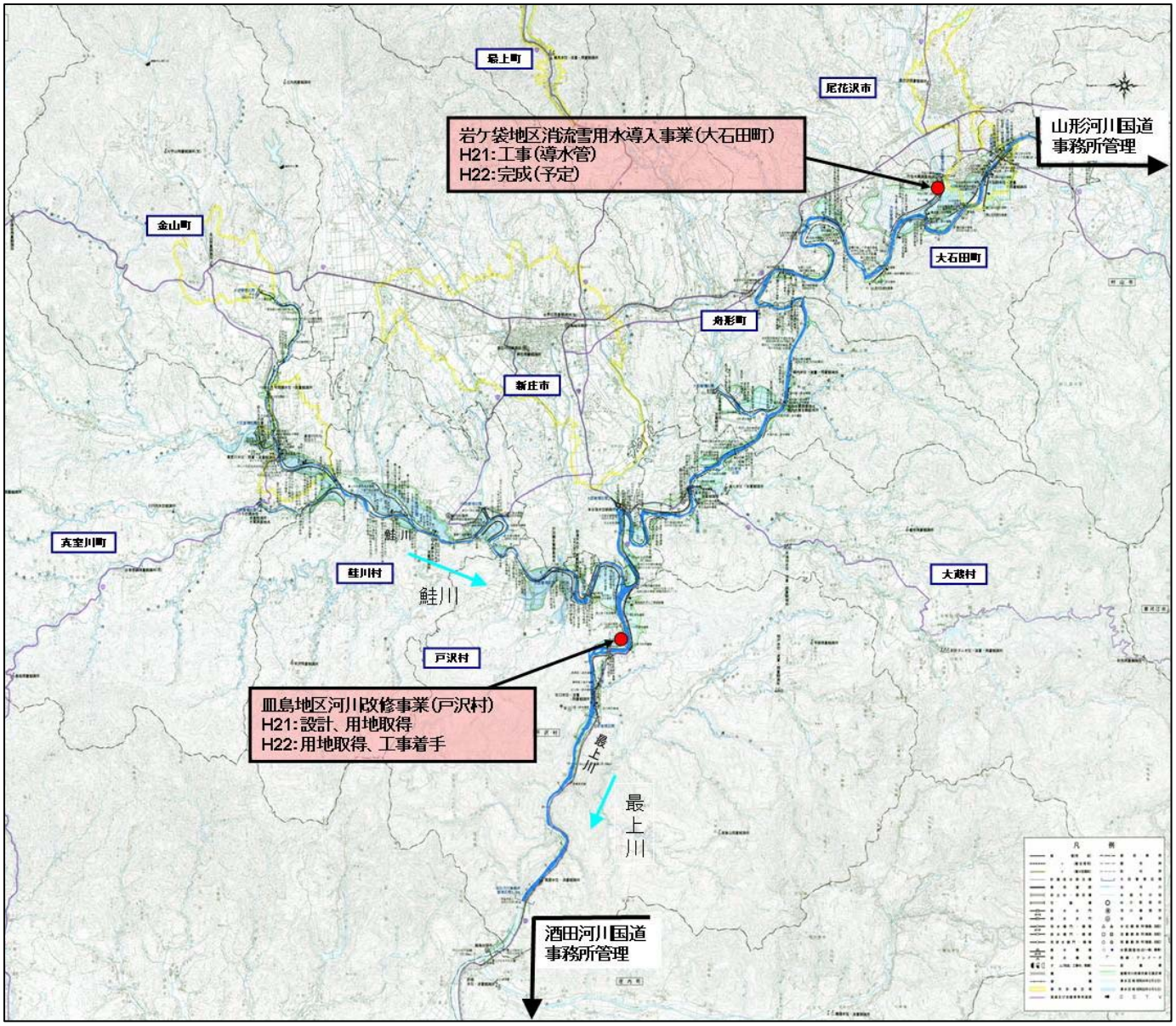
○　豊牧地区については水路工の整備を行い、地すべりの安定を図ります。

○　月山地区については地すべりの変状を抑制するため、地下水排除のための集水井工及び集排水ボーリング工等を促進し、地すべりの安定を図ります。

4. 平成22年度の河川主要事業

最上川中流　管内図
（H22河川関係主要事業箇所　位置図）





河川工作物関連応急対策事業

〇樋管ゲートの電動化等の応急的な改良を実施し、施設の安全・機能性の向上を図ります。

・H22年度工事関係費 ： 12百万円

・H22年度は、樋管ゲートの電動化を引き続き実施します。



手動式のハンドルでゲートを開閉

改良



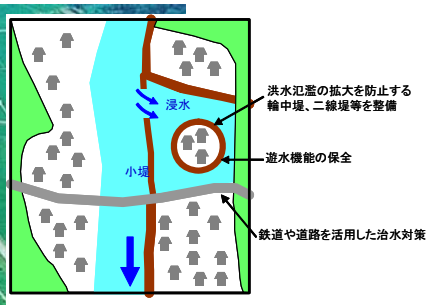
ゲートの開閉を電動化

河川改修事業

○戸沢村皿島地区を対象として、地域の安全で安心した暮らしを図るための「連続堤整備によらない治水対策」の事業を継続実施します。
・H22年度工事関係費：370百万円
・H22年度は用地取得及び工事に着手します。



集落が点在している皿島地区



地域の特徴や実情を考慮し流域が一体となった治水対策を実施


H9.6出水状況写真

消流雪用水導入事業（大石田町岩ヶ袋地区）

○屈指の豪雪地帯である大石田町岩ヶ袋地区において、冬場の克雪対策として消流雪用水導入事業を完成とします。
・H22年度工事関係費：148百万円
・H22年度は取水のための設備関係を実施します。


屋根の雪下ろしにより、通行が困難な道路

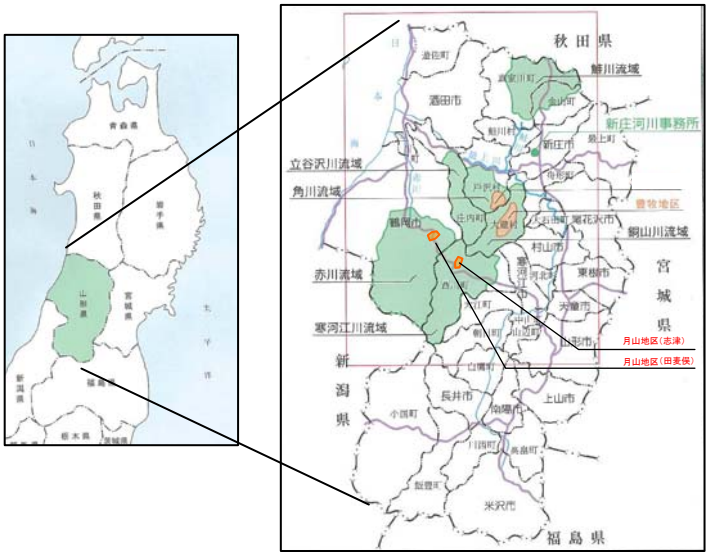


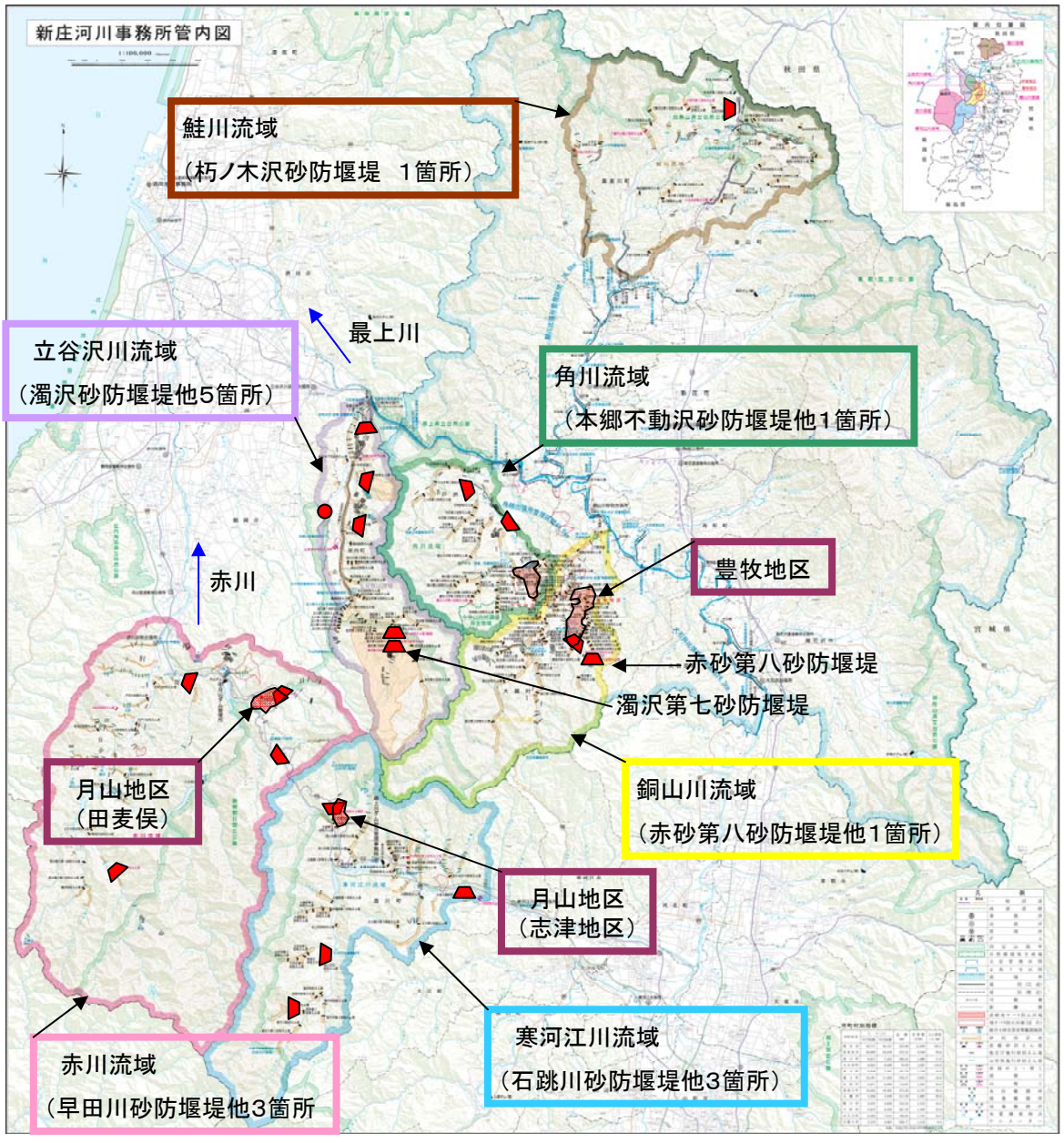
岩ヶ袋地区消流雪用水導入事業対象地区


困難な除雪作業

5. 平成22年度の砂防主要事業

最上川・赤川水系砂防計画管内図
（H22砂防関係主要事業箇所　位置図）





砂防事業

東田川郡庄内町　濁沢第七砂防堰堤

〇濁沢第七砂防堰堤工事を完成させ、土砂災害から生命・財産を守ります。

・H22年度工事関係費：152百万円

・H22年度は、砂防堰堤を完成させます。



上流部崩壊状況



上流部（池の台地すべり末端水衝部）状況



濁沢第七砂防堰堤

最上郡大蔵村　赤砂第八砂防堰堤

〇赤砂第八砂防堰堤工事を完成させ、土砂災害から生命・財産を守ります。

・H22年度工事関係費：550百万円

・H22年度は、砂防堰堤を完成させます。



上流部崩壊状況

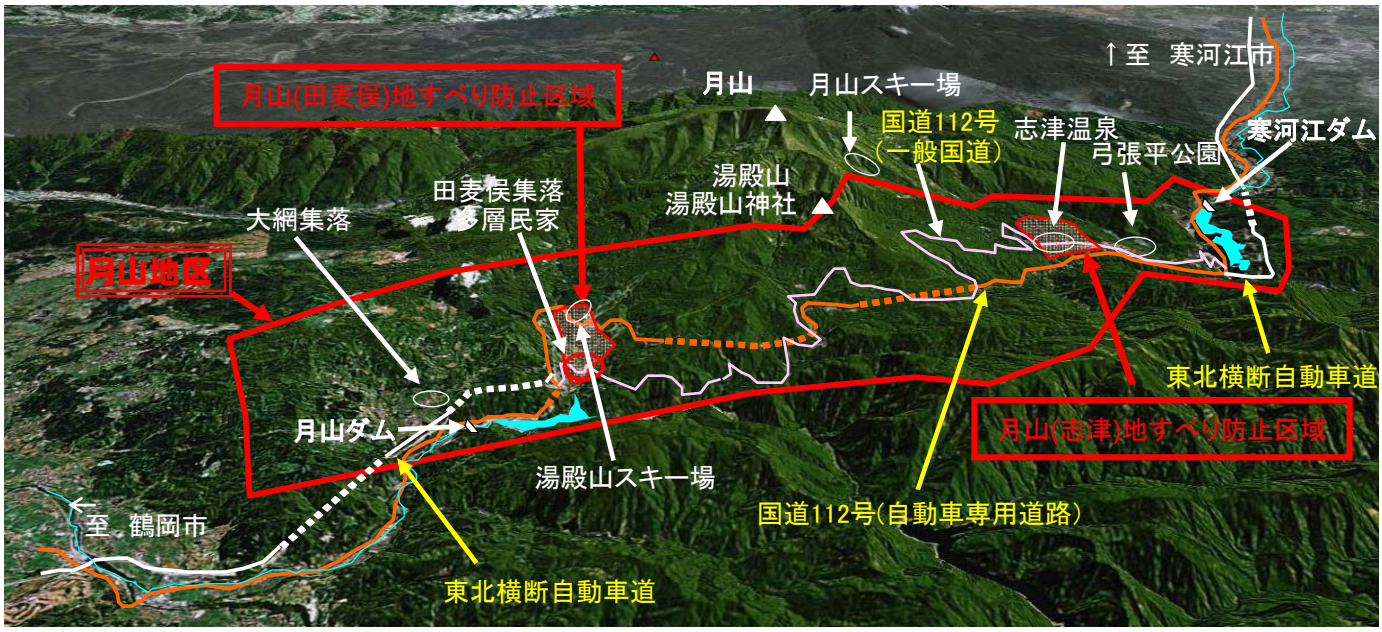


赤砂第八砂防堰堤

主要事業の概要

■[西川町、鶴岡市] 最上川・赤川水系月山地すべり対策事業

○月山地すべり対策事業を継続促進し、地すべりによる被害から、生命・財産を守ります。
・平成22年度工事関係費：629百万円
・平成22年度は、集水井工、集排水ボーリング工の実施および地すべりに関する調査・観測等を引き続き実施します。



平 成　22年　 3 月　29日
東北地方整備局　長井ダム工事事務所

長井ダム平成22年度事業概要について

長井ダムは、国土交通省が山形県長井市に建設を進めている重力式コンクリートダムであり、置賜野川及び最上川沿川地域の洪水防御をはじめ、かんがい用水の補給や水道用水の供給及び発電を行う多目的ダムです。

昭和５９年度より建設事業に着手してから、昭和６３年度に基本計画を告示して、その後、付替道路工事等の進捗を図り、平成１２年３月にはダムの本体工事に着手しております。平成１４年１０月から開始された堤体コンクリートの打設は平成１８年１１月に完了し、現在、平成２２年度内の事業竣工に向け、鋭意事業の進捗を図っているところです。

平成２１年１１月３０日には試験湛水を開始し、現在継続中です。

平成２２年度は、工事関係費19.51億円(24.16億円:業務取扱費込み)をもって**堤内仮排水路閉塞及び跡地整備工事、貯水池内の斜面対策、既設構造物撤去等を実施し、ダム事業を竣工させます。**

ダム諸元

堤　高（ダムの高さ）	125.5m
堤頂長（ダム天端の長さ）	381 m
堤体積（ダム建設に必要なコンクリート量）	約120万m^3
総貯水容量（ダムが貯められる水の量）	5,100万m^3
型　式	重力式コンクリートダム

ー試験湛水とはー
ダム湖に本格的に水を貯める前に試験的に水を貯めて、ダム堤体及び貯水池斜面の安定・安全を確認するために行うものです。

問い合わせ先
国土交通省東北地方整備局長井ダム工事事務所
山形県長井市館町北6－6
TEL　0238－88－5181
事業対策官　高橋（たかはし）　大三（だいぞう）（内線208）
工　務　課　長　村上（むらかみ）　昌宏（まさひろ）（内線311）



下流から長井ダムを望む(平成21年12月撮影)



貯水池上流側を望む(平成22年３月撮影)

酒田港 平成22年度 港湾整備事業の概要

平成22年３月２９日
酒 田 港 湾 事 務 所

平成22年度の酒田港における港湾整備事業（直轄）の概要は以下のとおりです。

１．予算の概要

平成22年度の酒田港工事関係費は１３.１億円であり、このうち平成21年度ゼロ国債は7.5億円となっております。

【単位：百万円】

酒　田　港	平成21年度 （当　初）	平成22年度 （当　初）	対 前 年 度 （増　▲減）	前　年　比 （H22/H21）
工事関係費	1,997	［　750］ 1,312	▲685	0.66

※［　］は21年度ゼロ国債で内数である。

２．主要な港湾事業

酒田港では、港内における船舶の安全航行及び荷役作業等の稼働率向上のための防波堤整備、航路等の浚渫を実施しています。

平成22年度は、防波堤(南)のケーソン2函を据付け、延長にして約26m延伸します。このほか、各施設のブロック製作および据付工事、浚渫工事、各種調査等を実施します。



《問い合わせ先》
酒田港湾事務所　TEL0234-33-6313
工務課長　佐藤　峰夫